

Q&A

先進アルミニウム国際研究センターの取り組み

（国立大学法人富山大学学長補佐 先進アルミニウム国際研究センター長 柴柳敏哉様）

ご質問

・講演の中で、現在は A6063 相当材で研究しているとのことでしたが、将来的には既存の規格材の強度・成分に収まるようなリサイクル方法を確立するのか、それとも新しい規格となるのか、方向性を伺いたいです。（車両メーカー様より）

ご回答

・JIS 規格内に組成を調整します。まず、これを目指して、Si 除去から取り組んでいます。ただし、JIS 規格内に収めたとして、機械的性質等が標準的な合金と同じであるかと問われると疑問が発生します。（その検証データを取っています。非公表なのでお許しください。）

将来的には、新しい合金（自動車会社では独自規格を既に持っています）への展開を考えています。「無害化」それから「高強度化」の二面で考えています。

新型車両 273 系「やくも」の紹介

（西日本旅客鉄道株式会社 車両部車両設計室課長 鶴岡誠治様）

ご質問

・見付上、全車端に運転室、デッキまたは便所があるようになっていましたが、これはオフセット衝突対策として、車端部に客室を置かない配慮されているのでしょうか。（車両メーカー様より）

ご回答

・当社の特急車両については、従前から、お客様に「静かな車内環境を提供」という観点で、車端部まで客室としない割付で設計しております。ということで、ご質問にあります車内割付の構成の考え方について、オフセット衝突対策とは関係ございません。